

# 南海二世紀に入って 十年の歩み

南海電気鉄道株式会社



## ごあいさつ



当社は前身たる阪堺鉄道が、明治十八年十二月二十七日に、難波～大和川間で小型蒸気機関車により鉄道営業を開始して以来、本年で満百十年を迎えることとなりました。

わが国の近代国家への黎明期に、民間資本による日本最古の私鉄として営みを開始した当社の歩みは、決して平坦なものではなく、むしろ幾多の難局に遭遇し、これを克服することに先輩諸氏の筆紙に尽くし難い苦勞があったといっても過言ではありません。

こうした諸先輩のたゆまぬ努力と関係各位の心暖かなご支援によって、今日を迎えることができ、誠に感銘に堪えないところでございます。

さて、昭和六十年に創業百周年を迎えて以来、本年までの十年間は当社が第二世紀に入って最初の十年にあたるわけではありますが、当社の長い歴史の中でも特筆すべき時期でもありました。

「南の時代」の幕開けのシンボルとも申すべき関西国際空港が、昨年九月、当社の事業エリアに開港し、空港への鉄道アクセスをはじめとする諸事業を一齐に開始いたしました。

私たちは、これを二十一世紀に向けての新しい出発点として位置づけ、地域社会の負託に少しでもお応えできるよう、役員・社員一丸となって、社業の発展に全力を尽くしてまいり所存でございます。

本書をご覧いただく皆様には、当社に対しより一層のご理解をいただくとともに、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成7年10月

取締役会長 吉村茂夫

## 刊行のことば



本年、当社は創業百十周年を迎えることとなりました。

当社が明治、大正、昭和、平成の四代にわたり幾多の困難を乗り越えて、今日あるを得ましたのは、永年にわたりご指導、ご鞭撻をいただきました関係各位のご芳情の賜物と感謝するところでございます。

また、創業以来社業発展のため、ともに辛苦を分かち合い、尽瘁されてまいった多くの役員や従業員諸氏の尊い努力に対して、衷心より敬意と謝意を表するものであります。

当社は、昭和六十年に、過去百年にわたる足跡を綴った「南海電気鉄道百年史」を刊行いたしました。

その後の十年間は、関西国際空港の開港にあわせ、その社会的使命である交通アクセスを整備し、これを完遂するとともに、空港関連の諸事業を力強く展開すべく、着実に前進してまいりました。当社は、間もなく到来する二十一世紀に向け、総合生活企業としての新しい南海の創造をめざし、歩みを続けてまいり所存でございます。

このたび、この十年間の当社の成長と変化を検証するとともに、当社に対するご理解をより一層深めていただくため、「南海二世紀に入って十年の歩み」を上梓いたしました。

連綿と受け継いでまいりました当社の長い歴史の一区切りとして、本書をご高覧いただければ幸甚に存ずる次第でございます。

平成7年10月

取締役社長

川 勝 泰 司



# 現 役 員

(平成7年7月24日撮影)

取縮役 和田 豊	取縮役 山中 諄	取縮役 番平 英雄	取縮役 岡村 正博	常務取縮役 則貞 修一	常務取縮役 玉城 千秋	取縮役 久保 勇
-------------	-------------	--------------	--------------	----------------	----------------	-------------

専務取縮役 増尾 穰	監査役 中筋 一朗	取縮役 田中 啓二	取縮役 川瀬 源太郎	取縮役 牧野 耕二	取縮役会長 吉村 茂夫
---------------	--------------	--------------	---------------	--------------	----------------



岩本樹雄  
常任監査役

綿石正博  
常務取締役

八木敏夫  
常務取締役

芦田淳  
取締役

中嶋誠之  
取締役

山野裕  
取締役

宇澤久典  
常任監査役

川勝泰司  
取締役社長

川勝堅二  
取締役

巽外夫  
取締役

山東永夫  
監査役

吉田二郎  
専務取締役

松井昭  
専務取締役

